

# Value Empowerment

## Chief Sustainability Officer, CHRO, CDEIOメッセージ

### PLEDGESを指針に、企業価値の最大化へ 真のOne Hitachiで サステナブル経営を深めていく

ローレナ・デツラジョヴァンナ

執行役専務／Chief Sustainability Officer兼  
CHRO兼CDEIO



#### サステナビリティをさらなる成長の原動力に

「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、日立はサステナビリティを企業価値向上の中核に据え、事業活動と一体化させた経営を推進してきました。日立にとってサステナビリティは、独立した活動ではなく、イノベーションと成長を牽引する「経営そのもの」です。

日立はこれまで、環境施策や人財戦略の推進などで着実な成果を上げ、サステナビリティ目標は概ね計画どおりに進捗しました。これらの取り組みと透明性の高い情報開示は、MSCIやCDPなどグローバルな外部機関からも高く評価いただいています。

しかし、日立がさらに社会に価値を提供していくためには、地域や事業を越えた日立グループのより強固な連携と、パートナーをはじめとするすべてのステークホルダーとの協働が不可欠です。Inspire 2027では、環境、社会的価値と経済的価値が共存するハーモナイズドソサエティの実現をめざし、日立グループサステナビリティ戦略「PLEDGES」を策定しました。これは、持続可能な社会および事業成長の実現に向けて鍵となる7つの戦略の柱で構成されており、めざす姿、2027年度に向けたKPI・目標を定め、グループ全体で、あらゆるステークホルダーと連携しながらサステナビリティを追求していくコミットメントです。

日立は、「PLEDGES」のフレームワークに則り経営を進めることで、社会に価値を届け、持続的な事業成長を加速するとともに、さらなる企業価値向上をめざします。単にKPIの達成を追い求めるのではなく、一人ひとりが自分ごととして「PLEDGES」を理解し、行動変容につなげていくとともに、達

日立は115年にわたり、企業理念のもと、社会が直面する課題の解決に取り組んできました。Inspire 2027においても、社会課題に寄り添い、これまで以上にIT・OT・プロダクトの強みを活かし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献し、持続的な企業価値の向上をめざします。

#### サステナビリティ戦略「PLEDGES」

サステナビリティレポート [▶](#)

<b>P</b> lanet	脱炭素の実現に向け、 <b>GX</b> をグローバルでリード
<b>L</b> eadership	社会課題を自分事として捉え、 <b>時代を切り拓く人財</b> が変革をけん引
<b>E</b> mpowerment	学びを称賛し、 <b>挑戦と成長を促す組織風土</b> の醸成
<b>D</b> iverse perspectives	<b>多様な人財が能力を最大限発揮</b> し、イノベーションを創出
<b>G</b> overnance	安全と倫理を最優先とし、 <b>レジリエントな組織基盤</b> を構築
<b>E</b> ngagement	<b>ステークホルダーと共にサステナブルなバリューチェーン</b> を構築
<b>S</b> ustainability for all	PLEDGEにより、 <b>社会への価値提供と日立の持続的成長を加速</b>

役員報酬と連動

成に向けたプロセスも適切にモニタリングしていきます。サステナビリティ戦略を企業価値向上の基盤とし、社会課題の解決と企業成長の両立を高いレベルで実現することで、真のグローバルリーダーとして持続可能な未来の創造に貢献していきます。

#### Inspire 2027達成のキードライバーとしての人財戦略

Chief Sustainability OfficerとCHROを兼任する立場となり1年が経ちましたが、日立のイノベーションと成長の原動力は「人財」であることを改めて実感しています。日立は、事業戦略と明確に連動した人財戦略を通じて、変化に対応し、持続的な成長を実現してきました。次の成長ステージに進むために、グループ28万人の従業員の力を「真のOne Hitachi」として結集させ、従業員一人ひとりの強みを最大限に引き出すことをめざします。その上で従業員は意欲的な目標を掲げて挑戦し、その成果に対して会社は報酬でしっかりと報いる—この好循環を、着実に築き上げていくことが重要です。

そのために、「PLEDGES」においても人財に関わるKPIを設定し、その実現に向けた具体的な施策の実行を進めます。特にInspire 2027では株式報酬をはじめ競争力のある報酬による優秀な人財の確保、生成AIなどの専門性の強化およびリーダー育成、タレントモビリティの推進などに注力し、人的資本への積極的な投資を行っていきます。それらを通じて、地域や文化を越えた多様な視点の融合を力強く推進し、組織と一人ひとりの成長を促すことで、事業の成長、ひいては企業価値の向上へと導いていきます。